



あなた、家族、地域の命を土砂災害から守るためのポイント

ポイント1 原則は **早い段階で安全な場所へ逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ**

ポイントを確認し、具体的な避難を考えましょう

ポイント2 **情報にしがたい適切に避難**

京都府 京都市

ポイント2 **情報にしがたい適切に避難**

土砂災害や洪水災害などの危険性が高まった地域には、避難情報が発令されますので、その地域にいる方は、早めに避難しましょう。しかし、局地的な雨の場合には、避難情報が出ない場合があります。避難情報が無くても、いつもと違うと感じたら避難しましょう。

(レベル3 土砂災害警報) **危険な場所から高齢者等は避難!** (避難に時間のかかる方とその支援者も含まれます。)

災害のおそれあり

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、自主的に避難しましょう。

ポイント1 原則は **早い段階で安全な場所へ逃げ遅れたら その場そのときで最も安全な場所へ**

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則ですが、逃げ遅れてしまった場合には、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

原則 / 早い段階で安全な場所へ

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則です。

早い段階で安全な場所へ

①事前に大型の台風や大雨が予想される場合

②夜中に雨が降り続くと予想される場合

③避難情報を聞いた場合

④前兆現象などいつもと違うと感じた場合

逃げ遅れたら / その場そのときで最も安全な場所へ

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

逃げ遅れたら / その場そのときで最も安全な場所へ

①避難経路が浸水しているおそれがある場合

②急激な大雨により、土砂が急に迫ってきた場合

③最寄りの指定緊急避難場所や警戒区域外へ避難するのが危険と感じた場合

注意

①浸水の中を避難するのはとても危険です。

②土砂災害から避難するときにはこんなことに気をつけましょう。

アンダーパス: 高架下のアンダーパスなど、冠水しやすいため道路の通行は避けましょう。

マンホール: 水が濁って足元が見えにくくなり、マンホールや排水溝などに転落することがあります。

地下: 地上が浸水すると、水が一気に流れ込んで、脱出は困難です。

我が家の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう!

①住んでいる場所や家族構成によって、災害時取るべき行動やタイミングは異なります。普段から防災意識を高め、適切な避難行動を知るため、家族や地域で相談しながら、防災行動計画「マイ・タイムライン」を作成しましょう。

②ウェブサイト(京都市防災ポータルサイト)で作成できます。また、区役所・支所、消防署でリーフレットも配布しています。

京都市防災ポータルサイト マイ・タイムライン 検索

どこに逃げるべき? / 早い段階で安全な場所へ

①お住まいの学区の指定緊急避難場所

②土砂災害や水害の危険性の低い地域の親戚、友人宅など安全な場所

※指定緊急避難場所へ避難するときには、まず、開設を確認しましょう。

確認方法 [1] メール、インターネットなどで確認。 [2] テレビのデータ放送(②ボタン)で確認。 [3] [1]と[2]で確認できない場合は 避難支所(075-571-6105)へ電話。

どこに逃げるべき? / 早い段階で安全な場所へ

①指定緊急避難場所に限らず、最寄りの高く頑丈な建物

②自宅の2階以上で斜面から離れた部屋

注意

①浸水の中を避難するのはとても危険です。

②土砂災害から避難するときにはこんなことに気をつけましょう。

増水: 増水した水路や川に近づいたり、横切るとはやめましょう。

斜面: 斜面や渓流から離れた道を選びましょう。

危険: 周囲に危険を感じたときは、高く頑丈な建物に駆け込みましょう。

裏面の土砂災害ハザードマップで自宅周辺、避難経路などの危険な箇所を確認し、早い段階の避難先と逃げ遅れたときの避難先を検討しておきましょう。

土砂災害の危険性のある地域にお住まいでない方は、職場や学校など、外出先からの避難を考えてみましょう。

わたしの早い段階の避難先は?

雨・風が強くなる前、暗くなる前の早い段階で、安全な場所に避難することが大原則です。

お住まいの学区の指定緊急避難場所

〇〇小学校

土砂災害と洪水災害の危険性の低い地域の親戚、友人宅など安全な場所 記入欄

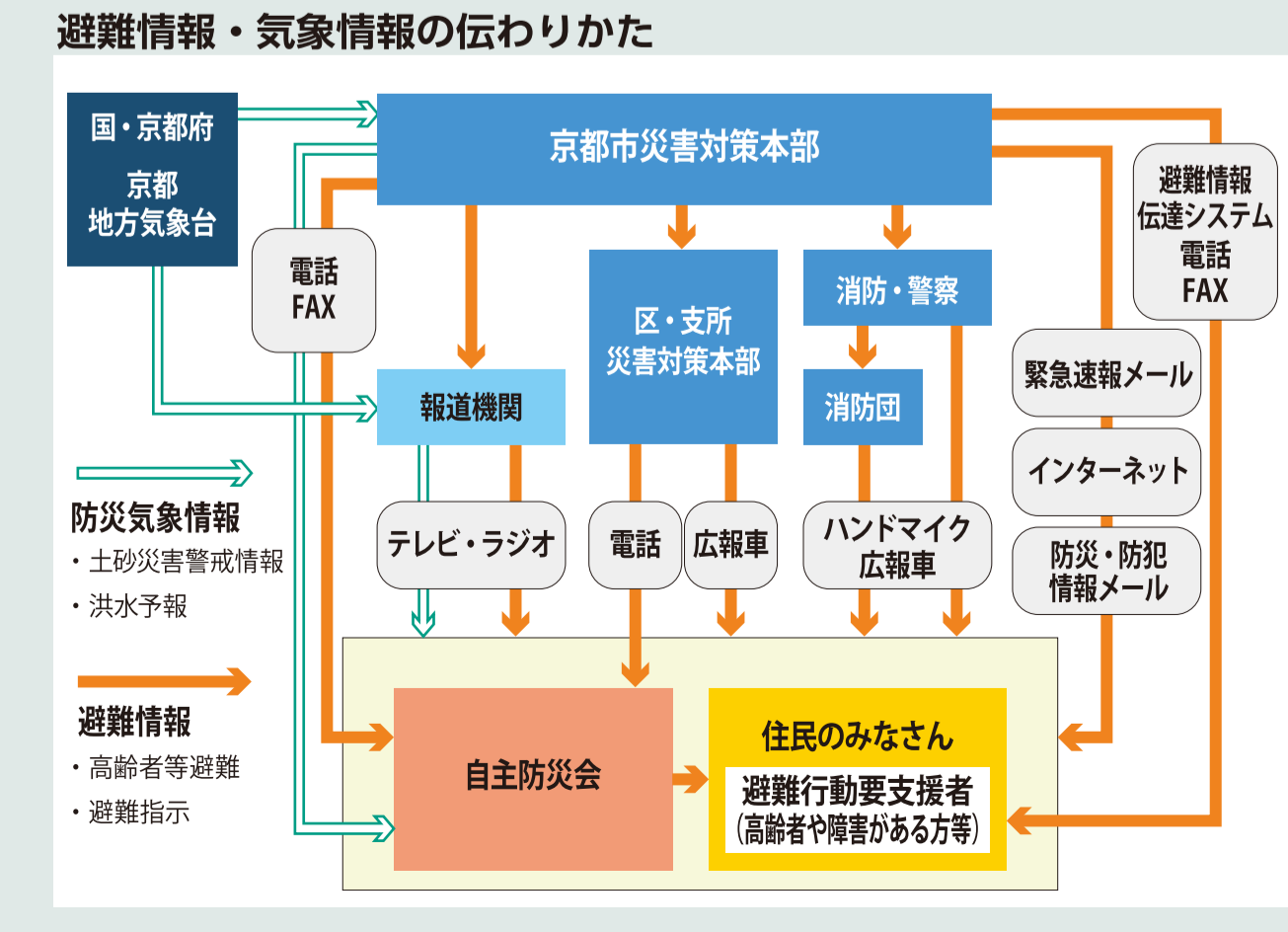
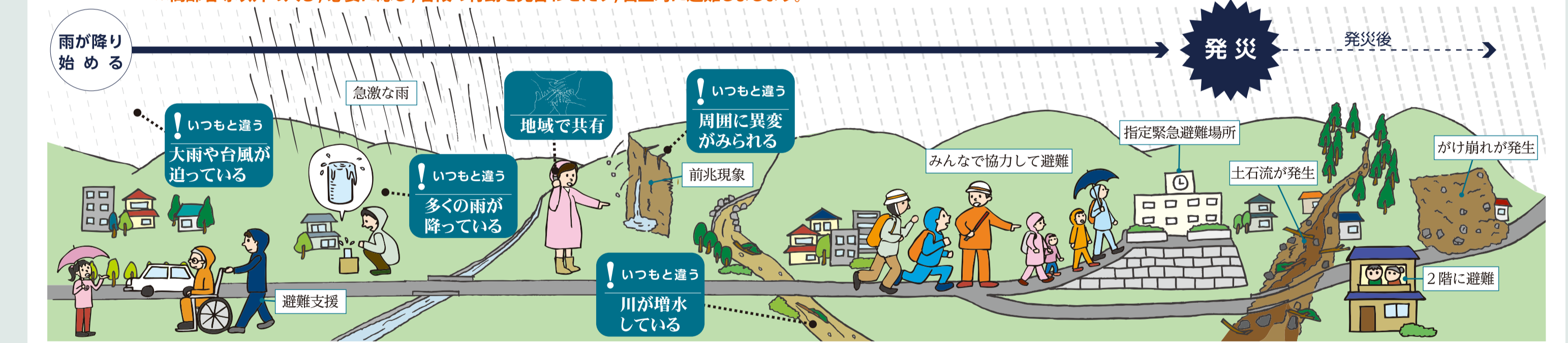
わたしの逃げ遅れたときの避難先は?

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

最寄りの高く頑丈な建物、自宅の2階以上で斜面から離れた部屋 記入欄

マップで確認して記入しましょう。

発行 京都市 | 京都市印刷物080704号
問い合わせ先 京都市行財政局防災危機管理室
TEL: 075(222)3210 FAX: 075(212)6790



情報の受け取りかた、調べかた

情報を受け取る / 京都府防災・防犯情報メール

気象情報(気象警報、地震、雨量や河川水位に関する情報)に加え、避難情報を発令した場合はその情報を電子メールで携帯電話やパソコンに配信します。 ※メール送信による登録 ※情報を受け取るには登録が必要です。 登録メール anzen@mail.bousai.pref.kyoto.lg.jp

インターネット / 避難情報案内システム

電話の自動音声応答により、避難情報を入手できます。 TEL 075(241)9901 [English(英語対応)] 075(241)9902

避難情報伝達システム 「避難行動要支援者」のうち携帯電話をもたれていない方で、登録をして頂いた方への固定電話(ファックスを含む)による避難情報の配信をしています。 ※情報を受け取るには登録が必要です。 風色伝信 防災危機管理室 075(222)3210

緊急速報メール(エリアメール) 避難情報を発令した場合は、お持ちの携帯電話(一部未対応の機種あり)に、その情報を配信します。 ※圏外や通話中などの場合、受信できないことがあります。また、一部対応していない機種もあります。詳しくは各携帯電話会社にお問合わせください。

インターネットで調べる / 気象庁 URL https://www.jma.go.jp

京都市防災ポータルサイト 気象注意報・警報、水位情報、雨量情報 URL https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp

京都府土砂災害警戒情報 土砂災害危険度情報、気象情報、XRAIN 雨量 URL https://d-keikai.pref.kyoto.jp

テレビで調べる / KBS京都 データ放送に対応しているテレビでは、②ボタンを押すことで、雨の情報や河川の情報(NHK総合提供)を確認することができます。

ラジオで調べる / NHK大蔵第1 666kHz 1143kHz FM a-STATION(FM京都) 89.4MHz FM COCOLO 76.5MHz

いつもと違う 防災気象情報

大雨や台風が迫っている

防災気象情報のレベルに注意して行動しましょう。

警戒レベル5相当	土砂災害レベル5 土砂災害特別警報	○警戒レベル5(緊急安全確保) 災害が発生・切迫。命を守るため最善の行動をとる。
警戒レベル4相当	レベル4 土砂災害危険警報	○警戒レベル4(全員避難) 直ちに身の安全を確保できる場所へ避難(土砂災害は立ち退き避難が原則)。避難場所までが危険な場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ。
警戒レベル3相当	レベル3 土砂災害警報	○警戒レベル3(高齢者等避難) 高齢者、障がいのある方、乳幼児など、避難に時間がかかる人は避難開始。その他の人は準備を進め、危険を感じたら早めに避難。
警戒レベル2	レベル2 土砂災害注意報	○警戒レベル2(避難への備え) ハザードマップで避難行動を確認。避難情報の入手手段を確認。
警戒レベル1	早期注意情報	○警戒レベル1(最新情報への注意) 最新の防災気象情報に注意する。

いつもと違う 前兆現象

周囲に異変がみられる

土砂災害が発生する前には、前兆現象が確認されることがあります。次のような現象を発見したら、ただちに区役所等に通報したり、避難を開始したりしましょう。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) 地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちること

地すべり 地下水などの影響により、地面が広い範囲にわたってゆっくりとすべり落ちること

土石流 山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流されること

山鳴りがする 雨が降り続けているのに、急に川の流れが滞り、流木が氾濫している

いつもと違う 周辺の雨

多くの雨が降っている

たくさんの雨が降ると、土砂災害が発生する危険性が高まります。

①降水量を自分で量ることもできます。

①雨が降り始めたから、カップを平らな場所に置く。

②溜まった水の高さを確認。 ※1cmで10mmの雨です。

京都市大雨警報発表基準 京都市防災局より 1時間雨量: 50~60mm

情報は1分ごとに更新

京都市土砂災害警戒情報 URL https://d-keikai.pref.kyoto.jp

地域の避難ルール

指定緊急避難場所が最寄りに無い場合は、地域で話し合い、安全が確保できる建物などを決めておきましょう。また、周囲に異変を感じたら地域で情報を共有できるよう、ルールを決めておきましょう。

①地域で避難ルールを決めておく

1.マップの「避難の際の危険箇所」などを参考に、周囲の異変を確認する場所や安全が確保できる建物を地域で取りまとめる

2.周囲の異変をどのように地域で共有するのかを決める

3.周囲の異変の確認や避難ルールに基づき訓練する

みんなで協力して避難!

非常持ち出し品リスト

非常持ち出し袋(リュックサックなど)に入れておくもの

非常食、飲料水、懐中電灯、乾電池・充電器類、貴重品、現金(公衆電話用に10円玉)、通帳・印鑑・健康保険証・運転免許証など、マスク、手指消毒用アルコール、ウェットティッシュ、体温計、ティッシュペーパー、タオル・ハンカチ、軍手・厚手のゴム手袋、筆記用具(油性ペン)、防寒具・雨具

あと便利なもの

着替え、卓上コンロ・携帯ガスボンベ、使い捨てカイロ、ビニール袋・ゴミ袋、ヘルメット、防水ビニールシート、布粘着テープ、ナイフ・はさみ・ドライバー、ローソク・マッチ・ライター

京都市土砂災害ハザードマップ

家族構成によって必要なもの

乳幼児、離乳食、粉ミルク、ほ乳瓶、おむつ、おしりふきなど

非常持ち出し品を事前に用意しておきましょう。

高齢者、入れ歯、介護食、看護用品、大人用おむつなど

防災に関する相談

地域で異変を感じたら(前兆現象を発見したら) 避難支所地域力推進室 075(571)6105へ電話

防災に関する相談 避難支所地域力推進室 075(571)6105

行財政局防災危機管理室 075(222)3210

避難消防分署 075(571)0474

京都市消防局(代表) 075(231)5311

危険宅地の防災 都市計画局開発指導課 075(222)3558

生活相談に関する相談 避難支所(健康福祉センター) 075(571)0003

災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171とweb171は、災害の発生により、安否確認や問い合わせなどの電話が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

災害用伝言板 web171

URL https://www.wtt-west.co.jp/dengon/web171/

緊急通報先

火事・救急・救助 119 警察・事件・緊急 110

道路災害(陥没、冠水、土砂崩れなど) 建設局伏見土木どり事務所 075(611)5371

災害廃棄物 環境政策局土木美化事務所 075(573)2457

環境政策局土木美化推進課 075(222)3952

環境政策局生活環境美化センター 075(681)5361

環境政策局土木美化推進課 075(222)3952

消費・防疫 医療衛生センター 075(746)7213

ライフライン

上下水道局東部営業所 075(592)3058

NTT西日本 0120(444)113

関西電力送配電ダイヤル 0800(777)3081

大阪ガスネットワークガス漏れ通報専用電話 0120(819)424